

2025年6月10日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 北原 睦朗

大阪市とのESCO事業に対する みずほ東芝リース株式会社向け融資の実施 ～ 大阪市の小中学校における照明器具LED化・自動水栓化に貢献 ～

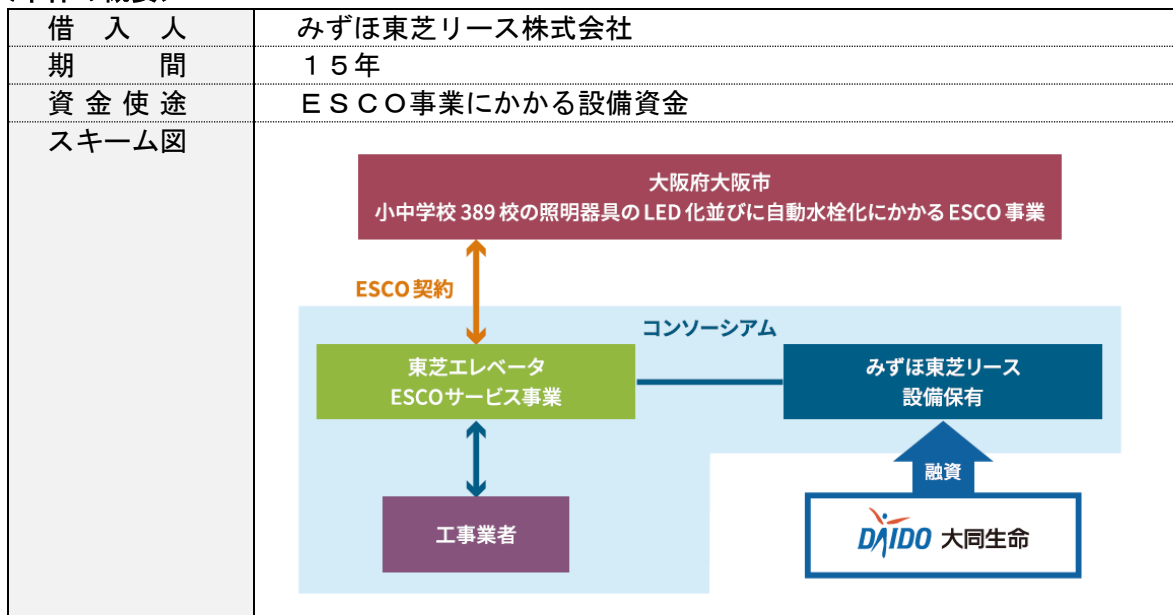
T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：北原 睦朗、以下「当社」）はみずほ東芝リース株式会社（社長：丸山 伸一郎）を借入人とする、ESCO事業^(※)に対する融資を実施いたしました。

本件は、みずほ東芝リースが参画する大阪府大阪市の小中学校 389 校の照明器具のLED化並びに自動水栓化にかかるESCO事業における器具設置などの設備資金への融資となります。

※ESCO (Energy Service Company) 事業

お客さまにビル・工場・事務所などの省エネルギーに関して包括的なサービス（資金調達、設備建設、設備所有、運転、保守）を提供し、その省エネルギー効果をESCO事業者が保証する取引です。本事業では、水道光熱費などのコスト削減に加え、電気のエネルギー削減率 14.29%を見込んでおり、地域社会への貢献に資する取組みとなっております。

<本件の概要>



みずほ東芝リースは、SDGsへの取り組みを踏まえ、事業テーマとして「脱炭素社会実現への貢献」を掲げています。今後も、このような長期の資金調達を活用しながら、地域社会の脱炭素化をサポートし、未来につながる持続可能な社会の実現を目指してまいります。

当社は、「T&D保険グループESG投資方針」に基づき、「責任投資原則（PRI）」の考え方や国連が提唱した持続可能な開発目標である「SDGs」などを踏まえ、環境・社会・企業統治の課題を考慮する「ESG投資」に積極的に取り組んでいます。本ローンは、これらの取組みの一環として行うものです。引き続き、当社は、責任ある機関投資家としての責務を果たし、持続可能な社会の形成に貢献できるよう努めてまいります。

以上